

災害に強い街に阿佐三会防災マップ

「日ごろから備え万全まちづくり」

★マップダウンロード



杉並区立第九小学校

震災救援所(一時避難所)
在宅避難登録所

- ① 自宅に○を付けよう
- ② 防火防災の施設・設備の場所を確認しよう
- ③ 近くの震災救援所(一時避難所)を確認しよう
- ④ あなたと家族が話し合った避難ルートを実際に歩いてみよう
- ⑤ この辺は危ないと感じている場所をマークしよう



注意
交通ルール厳守の
交差点
道路標識・路面表示
「止まれ」無視の
自転車多数あり

自分用防災マップを作ろう
Make Your Own Hazard Map

凡 例	
	街頭消火器 初期火災時の住民消火器
	スタンドパイプ用消火栓
	防火水槽(広場地下)
	防災機材倉庫
	スタンドパイプ
	掲示板
	災害井戸
	AED(自動体外式除細動器)

あなたは大地震についてどんなことを家で話していますか？

●このコーナーは杉並区立第九小学校と東原中学校生のアンケートから選んだ子供たちの声です

大地震の危険性 震災は必ず起きるよね

大地震は明日に起きてても不思議ではありません

家庭用防災バッグを用意しようよ

避難用品が入った防災バッグは 自宅で用意するほか 市販されている物もあります

近くの避難所へ どの道を通って避難しようか ラジオを聞いて 防災マップを見て考えようぜ

はぐれちゃって 携帯電話も使えないとき 連絡手段や集合場所は 絶対に決めておこう

過去の経験から とても大切なことです

一時避難場所・震災救援所は 近くの小中学校となっています

おばあちゃんやペットを どうやって連れて行こうか そして兄弟の誰を優先に 迎えに行こうか

食料不足になるよね 非常用食料の作り方も 勉強したいな

家の中のタンスや 本箱が倒れないか 安全確認しておこうよ

食料品は少し多めに買い置き 定期的に使っては補充する ローリングストック方式を 使いましょう

枕元は家具類が転倒してこない配置に 転倒対策ツッパリ棒・L型金具は ホームセンターで販売

個々の家族の特性に合わせて 考えることはとても大切です

買う → ローリングストック → 食べる

住民消火器の使い方 (杉並消防署指導)

- 1 住民消火器を取り出す
- 2 火元まで持って行く
- 3 ピンを抜いてホースをかまえる
- 4 消火器ノズルを火元に向け放水する

在宅での避難

発災後、自宅の安全が確保され居住の継続が可能な場合、区では自宅で避難生活を送る、いわゆる「在宅避難」を呼びかけています。在宅避難のメリットは、住み慣れた家で避難生活を送れることから、様々な避難者が共同生活を送る震災救援所と比べ、プライバシーの確保ができ、心身に掛かるストレスを軽減できることです。在宅での避難生活を送るために、今、すぐに、できることから始めましょう。

こんな制度もあります！

避難者登録制度

震度5強以上で開設される震災救援所で **避難者登録**を行うことで、在宅避難をしている方も震災救援所で物資を受けとることができます。

(杉並区防災課より)

杉並警察署からのお知らせ 杉並区成田東 4-38-16 03-3314-0110

「災害に強い街づくり」「テロを許さない街づくり」
いつもと違う！と感じたら、迷わず110番。

緊急110番・相談#9110番 使い分けをお願いします！

自転車も車両です
交通ルールを守りましょう

TOKYO SAFETY ACTION

まだ信じてるの？
医療費の還付金？

「いつでも安全いつでも安心」をあなたのお手元に/
Digi Police

痴漢撃退機能・エリア犯罪情報・地域の防犯情報を提供

STOP! ATM! 携帯電話

ATMで 還付金の手続きは できません!

App Store / Google play